磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市南町
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷人 倫孝
發行人 遠藤
電話（平）一二一〇番

以外に少い登録申請

割込なければ全部開業

お米屋

明春三月から愈々主食の配給が民營に切替る事になつて十五日期限の米屋開業申請を市役所に提出したものは豫想した數から遙に下廻つて舊業者から廿名新規開業者（公團からの轉業者その他）から廿三名、計四十三名という豫想を裏切つた低調なもので申請者の殺到によつて激しい登録爭奪戰が展開されるものと思はれていたが市内人口から見てこ分では申請者が全部登録開業出來るけん内にあり一寸安心した樣な形だ登録日はまだ一ケ月もありその間に折角獲得した登録を他から割り込まれて奪はれるおそれは充分にあり、新舊業者の間に對立がますます鋭くなつている現狀で一部の喰込み戰術など考慮寸時も樂觀は許されない

お互にしのぎをけづる戸別訪問、通信勸誘は年末年始に入つて猛烈を極めるものと見られ選擧戰以上の秘策がめぐらされるであらう

出揃つた供米候補

市内から四十三軒届出

お米屋さんの復活とあつて永い間市内から姿を消していた暖簾と顔、それに新規に營業を開始しようと云う商人さんで登録日の十五日まで平市役所へ開業の申請者は猛烈な運動まで展開していたが結局左の四十三名が登録届出をなした、

申請者の氏名は次の通り

一丁目管本武雄、二丁目錠谷健三、南町中島武彦、鎌田町渡邊正三、彌宜町小野寺恒雄、鎌田町鈴木新平、白銀町志賀信雄、久保町古田部春吉、材木町長瀨富雄、南町岡田勇治、六丁目伊藤藤雄、大工町石井司、柳町宍戸武雄、北白銀町折笠彌之、杉平須藤榮一、紺屋町馬目玉彌、鎌田町高木保次郎、長橋町關内信二郎、三丁目梅原利三郎、五丁目丹野周一郎、新川町松崎長太郎、白銀町木田利政、南町坂本爲一、月見町根本重也、五丁目三森猪之介、中平窪小室八十吉、谷川瀨永山光重、白銀町石島德治、五丁目酒井忠二、正月町渡邊次郎、鎌田町根本三郎、古鍛治町久保木忠夫、一

平市水道問題調査（三）

特別委員會報告書

1 昭和廿五年十一月十七日好間村長並に各江堰、代表鈴木榮一氏並に、同年十二月八日大瀧江筋管理金成金作氏より平市長宛の公文書により一、六個以上の增水契約は絶對出來ない事が明かとなつた

2 夏井川の水量はかつ水時と云えども最底毎秒四〇個の水量を有することは縣河港課の證明する所である

五、鎌田山事業計畫

（一）總工費貳千万円

1 現の水道は水量一、六個の處、更に毎秒二個の水量を夏井川鯨岡地先幕の内橋下流に於て川床三メートル下に集水管經九〇〇ミリ、延長五〇メートルを布設し、伏流水を集水し導水管によりポンプ場に誘導し、更に内經二五〇ミリ送水管により鎌田山配水池に至る、此の延長三五〇メートル、尙二五〇ミリ配水管にて八〇〇メートル、延長七町目に至り既設鐵管に接續するものである、此の費用二〇、〇〇〇、〇〇〇円にして水道は特別會計になつているので、内三〇〇〇、〇〇〇円は縣補助、又四、五〇〇、〇〇〇円は寶籤發行の利益金を充て殘りの一二、五〇〇、〇〇〇円はすい道使用料を以て充てることになる

（二）假に新たに好間川より二個の水利權を得た場合の經費概要

1 現在の施設では四、六個の水を取るには導水管、沈澱池、ろ過池の增設を計らねばならないが其の經費は左記の通り二、八一八、七、五〇〇円で鎌田山上すい道計畫費より一八、一八七、五〇〇の增額となる

（イ）導すい管の增設費 四、八八七、五〇〇円也

（ロ）沈澱池の增設費 一三、五〇〇、〇〇〇円也

（ハ）ろ過池の增設費 一六、五〇〇、〇〇〇圓也

（二）雜工事費（連絡管布設其の他） 一、五〇〇、〇〇〇円也

（ホ）用地買收費 一、八〇〇、〇〇〇圓也

合計 二八、一八七、五〇〇円也

（三）以上比較檢討の結果水道保全のためと工費の點より考慮する事が平市將來のため萬全の策である

以上報告いたします

昭和廿五年十二月

特別委員長 馬目武之助

平市議會議長

金古政通殿

要望事項

一、送水路へ水量計を設置すること

現在の送すい量は不明に付き水量計を新設するか又は現在のベンチリメーターの移轉をすること

二、送すい管の一部が縣道替えをすること

そうすい管の一部が縣道直下に埋設されて居るので、震動による故障が多い事と思慮せらるゝを以て縣道外下に移動埋設すること

三、工場家庭の量すい器を修理又は新設すること

工場使用すい量及各家庭の使用を完全に量計するため既設量すい器を修理又は新設すること

以上

楠保護司のかくれた努力

話題の主は湯本町中の寺の僧呂楠正憲（三五）さんで、同氏は戰時中陸軍將校として南方戰線で活躍二十三年復員後佛教精神の致すところが戰後激增する青少年の犯罪に感ずるところあり自ら青少年保ご司として惠ぬ子等に愛の手をさしのべて來

惠れぬ子の指導に

模範青年會あす結成

丁目長瀨延太郎、胡摩澤伊藤實、同花澤久太郎、久保町遠藤忠治、月見町山崎ナク子、彌宜町安齋傅、鎌田町片寄保、北目町加藤一三、仲間町奈良哲也、月見町高萩傅重

三十名の青少年が保護教育を受けている湯本地區青少年保護協會では、△不良少年達をも吸收模範的な青少年會を結成しようと言ふ少年達の發案で十六日午後一時からその結成式を擧げることになつた同保護協會は先に青少年保護運動に對する優秀協會として法務總裁から表彰されており、郡下では唯一つの保護施設機關として各方面から重視され注目されており今後に大きなたいをかけられているなほ同協會が現在を得た大きな蔭の力として惠まれぬ不孝な子等にそして惡の道に迷い込んだ青少年に限りない肉親の愛の手をさしのべている同協會少年保ご司の暖かい心情は意心はわすれられない改心に信頼の情を呼び大きな感謝の話題となつている

女車掌殺人未遂事件

何故彼女は斬られたか

取べ官に渡邊犯行告白

平市内常磐交通バス車掌松對されたのに逆上両手で孝傍にあつた菜切包丁で同女本孝子（三一）の顔面を滅多切子の首を締めたが益々要求の顔面を滅多斬りにしたとりにした波邊昭一（四）は十六日朝の取調べに對し、犯行にいたつた動機は孝子が變心したので逆上同女を殺し自殺するつもりだつたと告白した、兩人は二年前孝子が赤井村に在住した頃一時同棲した事も有る中だつたが孝子は平市營アパートに移つてからは會社から男女の交際はきびしく禁じられているからと云つて冷ナんになつて來たのを不滿に思つていたが十三日夜同女を訪づれ同棲を迫つた所反抗の態度に出た述べた

三郡の關係者會同

盲あ者協會設立を協議

濱三郡盲啞者福祉協會設立準備協議會は十七日午前十時から平盲啞學校に於て石城相馬双葉三郡と平市の各關係者約六十名が參加して行われる

正月用商品續々入荷

押し迫る暮の購買力をねらつて市内各商店の仕入れと荷動きは活潑になつている最近の市内商店で仕入れた正月用品を調べて見ると新川町石川屋へ青森からリンゴ一車、三丁目坂本商店へ八戸市からスルメ一車、同町藤井商店へ小田原ミカン一車と大所らしい仕入れで捌いている、小口では紺屋町阿部商店へリンゴ六十箱亟館スルメ四百五十貫、三丁目久野食品店へ佃に、生が類一〇〇樽は小口らしくもない入荷である、中町伊坂商店には名古屋から玩具小供用品、四丁目小野榮吳服店へは關東筋の衣料品を始め市内百貨店の賣出し用商品が滿倉されている、本町大一屋荒物店ではお餅を燒くのに是非必要な金網二千枚が入荷している、田町伊藤、田口、南町勇屋、七丁目松本、五丁目袋屋の各商店へは靜岡縣と須賀川方面から下駄が大量に入荷正月用品は既にそろつたと別つたところでも取引はこれからで縣外問屋筋の出入はめつきり增加、東京三河方面からの衣料品、家具、調度品の賣込戰は物すごくこの機を逸せず賣付けんものと奔走中だ、石卷方面からは海產物加工品も入荷はしているが生物はまだチト早過ぎるものと見てか荷動きは少ない市内からの出荷は岡田牛乳店の中通り向け大豆粕五十俵と閉散なもので荷動きの面からも平市は完全に消ひ地であることを裏づけている

道路復興への寶くじ

平市完全消化

縣第二回道路復興寶くじは先月廿日から今月十五日まで賣出しを行つた結果、平市では割當額一千二百枚、冊六万円を完全消化し十六日縣から完全消化の勞をねぎらう旨電報があつた

乳牛に豫防接種行う

石城地方事務所では郡下三百頭の乳牛に對して十五日から廿四日までの十日間結核予防の爲各町村に於てツベルクリン反應予防接種を行う

運轉臺から現金四万円消ゆ

上遠野村大字根岸字橋場三二、六貨物自動車運轉手馬上一三、騰寫印刷講習會に關する件四、その他

年末斗爭強化に關する件

教組石城支部では十六日午前十時より第十回執行委員會を開き左の事項を協成した

一、年末斗爭強化に關する件

二、遊戯講習會に關する件

三、騰寫印刷講習會に關する件

四、その他

年末斗爭など教組今日協議

たもので現在まで百余名の青少年を更生させ社會に送り出している

ラクビーリーグ戰

濱通りラクビーリーグ戰は十六日午前十時から湯本町で第一回試合湯本高校對内郷校十一時から平工校對小名濱水產十七日午前十時からは平工グランドに第一回戰磐高對平工二回戰は十一時から配電對平ラガーとなつてゐる、この試合は磐高と平工の優勝爭いとなつて居り明日の試合は熱戰が豫想されてゐる

今日ふいご祭

平市鍛治町鎭座金山水天神社では十六日ふいご祭（みかん祭）を行、母親につれられた子供達は一人〳〵神主さんからみかんを貰つてはしやぐ姿ににぎわつた

土木建築請負業
堀江工業株式會社
社長 長谷川常吉
平市搔槌小路
電話五一九番
五三五番

本年最後のプレゼント!!!
第12回前後賞付
200万圓寶くじ
1等100万円・前後賞50万円
4等迄殘念賞付
1枚20圓 抽せん12月30日
3枚續きの幸運は冗つて待たう
日本勸業銀行
平支店

歲末大賣出し
婦人オーバー
男子オーバー
洋服生地
洋服、洋品
メリヤス下バキ
シヤツ
鈴藤
平四 電九三

大塚の歲暮大賣出し
全商品百円以上一割引
十五日より末日まで
◇定評有る……大塚の靴
紳士靴
婦人靴
小供靴
七五三
有名の月星運動靴
黑、白、茶—六文より十一文半まで
◇メリヤス……贈答品に
グローブ、ピンポンセット
美しい箱入致します
◇運動服各種
平市驛前三十米道路
靴と運動具は
大塚
電話七十七

皆樣の魚店
磐城名產
鰹節
擂辛
丸市屋
平市四丁目
電話二一三番

工員募集
（高級優遇）
鉄打工 十名
電氣酸素容接工 若干名
罐製工 若干名
外務員 壹名
履歷書携帶を乞ふ
小名濱町松之中五二一
龜葉道雄工業所
電（呼）三四一

季節の寵兒!!
文化木炭（厚生大臣推賞）
◆火持よく ◆臭氣なく
◆危險のない ◆經濟的な
木炭の敵？ 加工燃料！
▲コタツ、火鉢用に最適
▲卸小賣、配達迅速
▲各種燃料取扱
製造 販賣
平市正月町六六
有限會社 共榮燃料工業所
電話一二八四番
小名濱町船引場（登記所前）
共榮燃料小名浜出張所

賃金値上げその他を
自由労組　幹部ら職安に交渉

石城自由労組連合會では十五日坂本連合組會長ら六名の代表が平職安所で所長と面會、去る十三日小名濱で開らかれた幹部會の決議として

△四半期のワク増大と司ワクの十二月中發表△正月の休か廢止△十二月は日曜就労を認めよ△作業衣類の低廉と分割拂いの配給を認めよ△職安の代行機關を小名濱に設置せよ△求人運動を早急に起せ△平均賃銀を男二百五十円、女二百円に引き上げの八項目を要求交渉したが職安側からワク増大については本省と交渉中であり努めて要求に添う樣努力するが、休か其の他については職安では出來ない、また其の他の事項についても今すぐ出來ないと答いた

大晦日も職安保險事務取扱

平自由労組では野崎組合長ら五名が十五日正午平職安を訪ね、十二月三十一日の日雇失業保險の支給を實施して欲しいと要求、安定所では支給を約した

就労を拒否され取消迫る

現場監督からの要請で十五日平職安所から失業對策事業の

来えの無期限就労拒否を言い渡された内郷自由労組員朝妻一郎(三八)は同日午後二時半ころ平土木監督所で上村所長を訪れ紹介拒否についてなつとくが行かないから理由を明きらかにせよと要求、紹介拒否される理由がなふを殘して引き上げた

いからなつとく行くまでは歸らぬと約二時間に亘りねばつたが上村所長から現場監督の總意により現場秩序を乱すものだと認めたことが理由だとつゝぱねられ、朝妻は「明日もまたくる」と捨てせりふ

保安部の廳舍用地
縣港務所敷地内え決定か

小名濱町海上保安部では、無電局並に廳舍の建設を町並に縣當局に向つて港務所敷地たる空地を貸與されたと交渉を進めている、これに對し縣港務所長濱田氏も異議はないが縣首腦の考へは動かす事は出來ないが保安部の希望に就ては好意を寄せている十五日第二管區海上保安部灯臺部長小野古之氏の視察の結果直ちに縣當局と交渉を進むる事となつたが、港務所の敷地は五百六十坪の廣さを持内三十坪は故小野晋平氏のはんの德碑建設敷地として既に使用して居る殘地が五百坪あり、港務所が僅かに三十坪に満たない建物の外は空地許りであるから保安部が移る坪位の敷地を分割されても何等支障がない處より、両事務所が仲よく同敷地に使う事は或る意味で便宜であらうと云う見方も出て居り來る縣會に何とか決定を

みて保安部の事務所と通信塔の建設も實現されるものと見られるに至つた

郡下の農道改良費決る

平土地改良事務所管内の廿五年度農道整備費負擔額は九十九万八千四百九十九円と十三日決定した、この工事非の總額は三百卅二万八千三百卅円で各地區農道整備費は次の通り

夏井村大乗坊地内＝延長二千米巾三米、工費二百万円、小名濱町大原地内延長六百米、巾三米、工費五十万円、同町君ケ塚地内＝延長三百七十五米巾三米、工費卅万円、高久村神久保地内＝延長一千、米巾三米、工費卅五万円、上小川村戸渡地内延長四百米、巾三米、工費十七万八千三百卅円

乳兒用砂糖の配給明日から

平市では十一月分乳兒用、妊婦用の砂糖を十七日から廿日までの四日間配給する母乳榮養兒三百瓦、混合榮養兒六百瓦、人口榮養兒一キロ五百瓦、妊婦四百五十瓦、價格は一斤六百瓦五十一圓

牛の移入禁止解除

縣では隣縣に牛の流行性感冒が發生したところから本をもつて禁止令が解除され年十月四日に縣外から牛及び附屬器具一切の移入を禁止していたが漸く同病も下つたが郡下は皆無

葉煙草收納始まる
今年は耕作成績がよい

專賣公社平出張所では郡下貫に對し七十二貫三百匁の葉煙草の收納期に入り等級檢査、報償金支拂に忙殺されている、今年は耕作者の技術の向上と報償金の値上げから極めて成績が良い、現在收納を完了したのは上遠野、山田村の二ケ所で買收金支拂額は上遠野村四百二十三万二千二百八十五圓植田町五百十七万一千円キロ百三十九圓で最高は上遠野村字根岸、石森豊重(四六)さんでは一反五畝廿一分を耕作反當り普通平均三十七匁二百三十五匁の收納金九万六千三百五十円の收益である、豊重さんは昨年も郡下で二位の優良耕作者今年は恐らく最優秀ではないかと同出張所では語つている、尚今年は優等から八等まで等分されキロ當り買收金は優等二八〇円、一等二三円、二等一八〇円、三等一五〇円、四等一二〇円、五等九〇円、六等七〇円、七等六〇円、八等五〇円

満船であわや沈没
サンマを放棄無事歸航

江名町大字江名漁業坂本喜久松さん所有サンマ船第一喜久丸(三〇トン)は十五日夜、豊間沖二十カイリ附近で大漁にまかせサンマ一万五千貫余を積込んだが、荷重から沈没の危險に瀕しあわてゝ海中にサンマを投げる一方SOSの救助無線を發したが、江名町から同坂本さん所有の第三喜久丸など四隻が出動危く遭難を免かれて十六日朝無事入港した

北州丸金華山沖でSOS

中之作坂部武雄さん所有サンマ船北州丸(三〇トン)は十五日夜、宮城縣金華山沖でスクリウに故障を生じSOSを發したが、救助無線を受けた坂部さんでは陸地は石の卷港から救助船が出動船体乘組員は無事

江名町でも巻上げる
元縣技師の余罪判明

石城地方事務所赤井出張所主任技師柴崎常次(四八)は輕井澤木炭生産組合長阿部秀夫(五〇)と共謀の上湯本町木炭商小西光子(四〇)さんから業鹽七五三松(三)さんから二回に亘り三千円を喝取した疑で十日平地區署に檢擧されたが、其の後平地署の取調べで柴崎は七月頃江名町中之作飲食業兼木炭販賣所に出張所備品費として千円寄

災害の復舊急ぐ
豫算三千五百万圓決定

平土地改良事務所管内の本年四、五月災害による被害地區及びその復舊工事豫算額は四月が四十九地區、三千二百六十三万二千円、五月が廿一地區、二百十七万円で計七十地區、三千四百八十万円に達しているそれら被害地區の内四月の九、五月の六、計十五地區の復舊補助金額八百八十七万五千円は今月中に交付される事に決定した、その内譯は次の通り

△四月災害＝磐崎村四十五万(すい路)江名町六十七万(井堰)四ツ波卅一万(水路)高久(樺渡村十五万(すい路)高久田村卅万(農道)川部村六十万(水路)錦町百七十万(橋梁)田人村九十二万(井堰)高久七十万(貯すい池)

△五月災害＝平市砂屋五万(護岸)鹿島村卅五万(橋梁)草野村廿万五千(農道)豊間町五十一万(井堰)鹿村百廿万(井堰)磐崎村四十六万(すい路)

鮫川疏水工事運動に上京

小名濱町長瀬助役と磐崎村鮫川流水分水期成同盟會員は明年度流水路開鑿工事費千貳百万圓に對する國庫補助申請のため十五日上京農林省に陳情する事となつた

〃〃〃〃〃土工の脅迫擧る〃〃〃

赤井村大字高萩土工高橋民雄(三三)は去る九月七日赤井村地内路上で同村農草野明三(三六)に對し腕時計を出せと脅迫したことが判明十五日平地區署に檢擧された

保險社員詐欺容疑で取調中

平市署は十五日市内鎌田岸一七東京生命保險相互會社支部長高野秋良(四八)を有印偽造行使詐欺の疑いで逮捕した、高野は昨年十一月廿八日市内鷹匠町七猪狩鑄造工業株式會社工場長山崎義行(四)さんと保險契約も成立してないのに百万円の保居る、然らば其の遺業は町村役現中にたゝれて居る一方SOSの救助無線を發したが、江名町から同坂本さん所有の第三喜久丸石の卷に急行したなお同船は四隻が出動危く遭難を免かれて十六日朝無事入港した

米泥スピード檢擧

山田村大字上山田無職鈴木四郎(三三)は十四日午後二時藤要さん方の不在中をねらい同家台所から白米二斗一千二百円相當を盜み、即日植田地區署に檢擧された

小名浜通信

小名濱町第二中學校敷地は一万坪の共同敷地を利用する事となつて整理に着手して見ると山林、原野、田、畑と云うだけに工事の進捗と共に其面積が豫定以上廣さを呈し殊に東西、火葬場寄りの地域の高丘を澤に埋める工事は約十米の埋立てに依つて數百坪の敷地外の敷地が生れ、更に一個の沼池をも出來る可能性を發見し火防用地として建造する必要ある事も取り上げられ近く委員會にかけて決定を見、大校舎を持つ第二中の火防池が期せずして築造さるゝ副産物もはへ出して來た喜びに接して居る

小名濱町富ケ浦公園は故志賀義次氏の手鹽にかけて開拓した有名な公園であるが氏は業半にして遂に他界された爲めで國道路の開鑿が宿願の儘となつて居た、氏死して約三十年而して未だ公園道路の劃然たるものが出來ないと言うことは志賀氏を地下に瞑目し得ない仕打ちであると痛感して居る蔭の人が幾人かある其處で最近問題となつて來たのは失業救濟事業中簡易失業救濟事業の枠が與へられたと聞きかくなつて居るなれば一日も早く救濟事業として道路の開鑿に誠を出し、延へては故志賀義次氏の遺業の結末をつけ以て地下に瞑目出來得る樣考慮を拂うべきであろう殊に志賀氏は町助役現中にたゝれて居る、然らば其の遺業は町村役現中にたゝれて居る、然らば其の遺業は町村役現中にたゝれて居る、然らば其の遺業は町村